

レジメン名 Dose-adjusted EPOCH-R

出典 NEJM 2013;368:1408-16
 リツキシマブBS点滴静注「ファイザー」添付文書
 2021年11月改訂

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患 非ホジキンリンパ腫
進行・再発
補助療法(術前・術後)

投与減量の基準

その他			

投与中止の基準

ANC	1000/mm ³ 未満	PLT	10万/mm ³ 未満
Cr	1.5mg/dL以上	CLcr	40mL/min以下
		T-bil	2.5mg/dL以上
その他	※出典に中止基準の記載がないため EPOCHレジメンを引用		

1クール期間 21日間 総クール数 6-8クール
 (次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日(d1, d8等)				
エトボシド	50mg/m ² ※1	輸液500mL*	24時間	d2-5				
ピンクリスチン(オンコビン)	0.4mg/m ²	輸液500mL	24時間	d2-5				
ドキソルピシン	10mg/m ² ※1		24時間	d2-5				
シクロホスファミド(エンドキサン)	750mg/m ² ※1	輸液500mL	3時間	d6				
ブレドニゾロン	120mg/m ²	経口or点滴	15-30分	d2-6				
リツキシマブ	375mg/m ²	輸液 1-4mg/mLに 希釈	初回は 50mg/hr から漸増※2	d1				
投与量あたりの薬物投与量	-2	-1	1	2	3	4	5	6
ドキソルピシン(mg/m ² /day)	10	10	10	12	14.4	17.3	20.7	24.8
エトボシド(mg/m ² /day)	50	50	50	60	72	86.4	103.7	124.4
エンドキサン(mg/m ² /day)	480	600	750	900	1080	1296	1555	1866
※1 NadirのANCが≥500/μLの場合1レベルdose増量。NadirのPLTが<25000/μLの場合1レベルdose減量。								
* エトボシドの投与量が150mgを超える場合は希釈液をNS1000mLにすること。(500mLを2回に分けて)								
※2 初回リツキシマブの投与速度は50mg/hrで開始し、問題なければ30分毎に50mg/hrずつ上げて、400mg/hrまで上げることができる。 2回目以降、速度を選択することができる。 ①初回投与時に副作用が軽微であった場合、2回目以降は100mg/hrで開始し、30分毎に100mg/hrずつ上げて、400mg/hrまで上げることができる。 ②臨床上に重篤な心疾患がなく、初回投与時に副作用が軽微であり、かつ投与前の末梢血リンパ球数が5,000/mm ³ 未満である場合、90分間で投与(最初の30分で投与量の20%を投与し、その後60分で投与量の80%を投与)することができる。								

1日投与順 (経時的にプレメタキーション・ポストメタキーション、 溶解液まで含む)
day1 ①ヒドロコルチゾン200mg+ボララミン5mg+生食50mL(30min) ②リツキシマブ375mg/m ² +生食適量 (50mg/hrから漸増※) ③生食50mL(フラッシュ用)
day2 ブレドニン120mg/m ² 内服 分2朝食後※ ①グラニセトロン3mg/バッグ(±ブレドニン60mg/m ² ※)(15-30min) ②エトボシド50mg/m ² +生食500mL(24hr) ③(側管1)生食50mL(ノート確保用) ④(側管2)オンコビン0.4mg/m ² +ドキソルピシン10mg/m ² +輸液500mL(24hr) ⑤(側管1)ブレドニン60mg/m ² +生食100mL(15-30min) (①の12時間後)
day3-5 ブレドニン120mg/m ² 内服 分2朝食後※ ①エトボシド50mg/m ² +生食500mL(24hr) ②(側管1)オンコビン0.4mg/m ² +ドキソルピシン10mg/m ² +輸液500mL(24hr) ③(側管2)グラニセトロン3mg/バッグ(±ブレドニン60mg/m ² ※)(15-30min) ④(側管2)ブレドニン60mg/m ² +生食100mL(15-30min) (①の12時間後)
day6 ブレドニン120mg/m ² 内服 分2朝食後※ ①(側管1)生食50mL(フラッシュ用) ②グラニセトロン3mg/バッグ(±ブレドニン60mg/m ² ※)(15-30min) ③エンドキサン750mg/m ² +輸液500mL(3hr) ④生食50mL(フラッシュ用) ⑤ブレドニン60mg/m ² +生食100mL(15-30min) (①の12時間後)
※ブレドニンは経口注射のいずれか一方のみ投与